

実習テーマ	がん幹細胞を考慮した転移がんモデルの基礎的検討
実習場所	高崎量子応用研究所 放射線生物応用研究部 「RI 医療応用研究」(群馬・高崎)
所属・学年	北海道大学大学院 保健科学院 保健科学コース 修士課程 1年
実習期間	2017年9月7日～9月21日

QST サマースクールに参加しようと思ったのはなぜですか？

私の行っていた研究テーマが、放射線治療を背景とした細胞周期シミュレーションモデルの作成であり、放射線治療の治療成績評価について関心がありました。QST サマースクールにて、RI 内用療法におけるシミュレーションモデルについて検討するテーマがあるとうかがい、応募させていただきました。

どんな実習をしましたか？

私はデスクワークが主でした。初めに主な方針を議論した後、モデルの基礎検討へ入りました。2週間という実習期間を考慮したうえで、将来性のあるモデル作りを心掛けました。また、実習期間中に何度か構内の第二種管理区域にあたる施設をいくつか見学させていただきました。

一番印象に残ったことは何ですか？

学生である私にとって、大学以外の研究機関に入った経験はありませんでした。研究者の皆さんが働く仕事場の空気を肌で感じることで、とても刺激を受けながら一つのテーマに取り組むことができました。一番印象に残っているのは、そういった環境です。

●代表的な1日

08:00	朝食 交際交流会館で朝食をいただきました。
09:00	開始
09:00～12:00	実習 担当の方と議論、モデルの組み上げ、データ取得を繰り返しました。
12:00～13:00	昼休憩 構内の食堂で職員の方とご一緒させていただきました。
13:00～17:00	実習 午前と同様に、議論、組み上げ、データ取得を繰り返します。 論文を探しながら順に必須事項を確認し、モデルを最適化していきます。
17:00	実習終了
18:00	夕食 国際交流会館で夕食をいただきました。非常に美味しく、十分に量のあるメニューです。
18:00～	自由時間の後に就寝。構内に戻り、調べ物をするもありました。

実習の様子



ご本人



研究者(左)の指導のもと、組んだプログラムの動作確認